

日本大学通信教育部『研究紀要』執筆要領

令和2年9月23日担当会議制定
令和6年5月22日担当会議改正
令和7年2月21日担当会議改正

「日本大学通信教育部『研究紀要』投稿要項」に基づき、『研究紀要』に投稿する原稿は、以下の要領によって執筆するものとする。

- 1 原稿の執筆は、原則としてパソコンのワープロソフト等を用い、原稿をプリントアウトしたもの2部と電子データ化した原稿を研究事務課に提出すること。

なお、文字数の目安は以下のとおりとする。

項目	文字数
「査読付論文」 人文科学系	30,000 字
「査読付論文」 社会科学系	30,000 字
「査読付論文」 欧文	12,000 語
「自由投稿論文」 人文科学系	30,000 字
「自由投稿論文」 社会科学系	30,000 字
「自由投稿論文」 欧文	12,000 語
「研究ノート」	18,000 字
「資料」	15,000 字
「翻訳」	15,000 字
「報告」	15,000 字
「書評」	15,000 字
「その他」 (編集委員会が認めたもの)	15,000 字

- 2 原稿の作成や注・引用の文献の表記の扱いについては次のとおりとする。なお、従えない場合は、事前に必ずその旨を申し出ること。編集委員で検討し、回答する。

【縦書・横書共通】

- ① 論文等の体裁としては、表題、著者名、本文、謝辞（必要な場合のみ）、注、参考文献の順で記述する。なお、注の表記は「注」とし「註」は用いない。
- ② ページ下部中央にページ番号を付記する。

③ 図表の体裁

- (1) 図表は上記の原稿の分量にふくまれるものとし、本誌1ページ（縦書1,500字、横書1,330字）を目安とする。なお、グラフをExcel等のソフトで作成している場合は、そのグラフの作成に使った元データも投稿の際に添付する。また、図版の場合はなるべく鮮明なものを投稿の際に別途添付する。
- (2) 図表のタイトルは図と表を分けて、図1、表1のようにゴシックで記載することを原則とする。
- (3) 図表の下には、参考文献表記にしたがって、出所を明記する。自身で作成の場合は、筆者作成と記す。一部改変の場合は、一部改変と記す。

④ 図版などの掲載許可

掲載原稿に使用する写真・図表などで掲載許可が必要な場合は、原稿提出までに執筆者自身で掲載許可を取得する。

【縦書きの場合】

- ① 年表記は西暦を原則とする。和暦等、元号表記も記することができる。数字は漢数字とし、単位語（十、百、千等）は使用しない。零は「〇」を用いる。
- ② 参考文献の表記は次の形式とする。
 - (1) 単行本の場合は、著者名、表題、発行所、発行年の順で記す。単行本が欧文の場合は、表題を斜体とする。
 - (2) 雑誌論文は、著者名、表題、雑誌名、巻号、発行年、頁の順で記す。表題、書名、及び雑誌名等は略記しない。雑誌が欧文の場合は、雑誌名を斜体とする。
 - (3) 同著者の同年発行のものは、発行年の後にa、bと記す。また、著者が複数の場合、日本語文献は著者名を中黒（・）でつなぐ。欧文の場合、著者が二人の際はandでつなげ、三人以上の場合はコンマ（,）で区切り、最後はandでつなぐ。
- ③ 見出し（番号）表記は次の順とする。

一 → 二 → ①

【横書きの場合】

- ① 年表記は西暦を原則とする。和暦等、元号表記も記することができる。数字はアラビア数字を用いる。
- ② 参考文献の表記は次の形式とする。
 - (1) 単行本の場合は、著者名、表題、発行所、発行年の順で記す。単行本が欧文の場合は、表題

を斜体とする。

(2) 雑誌論文は、著者名、表題、雑誌名、巻号、発行年、頁の順で記す。表題、書名、及び雑誌名等は略記しない。雑誌が欧文の場合は、雑誌名を斜体とする。

(3) 同著者の同年発行のものは、発行年の後に a, b と記す。また、著者が複数の場合、日本語文献は著者名を中黒（・）でつなげ、欧文の場合、著者が二人の際は and でつなげ、三人以上の場合はコンマ（,）で区切り、最後は and でつなぐ。

③ 見出し（番号）表記は次の順とする。

1. → (1) → ①

3 投稿後の訂正は誤字脱字に限り、原則として内容の変更は認めない。

4 不明な点については研究事務課に問い合わせること。

附 則

この要領は、令和 7 年 2 月 21 日から施行する。